





開催時間 休館 日 午前9時15分~ 土·日·祝日





独立行政法人 館つくば分館 NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN 記録を守る、未来に活かす。 Archives:Evidence from the Past, Beacon for the Future

\ホームページはこちら/

http://www.archives.go.jp

たべものがたり

ーグルメな古典文学ー

食べることも、文学だ。

毎日のありふれた食卓はそのほとんどが記録に残ることはありません。 しかし、それらがあえて和歌や物語に書き留められるときには、ただ空腹を満たすための 行為としてだけではなく、読む者の心を動かす特別な意味を持つことになります。 本展では、古典文学に描かれた「食」の多彩な姿を、当館所蔵の貴重な資料からご紹介します。



日本書紀



徒然草



今昔物語集

日本最初の勅撰の歴史書で、養老 4 年(720)に舎人親王(とねりしんのう)らによって編纂されました。保食神(うけもちのかみ)という神の死体から穀物や家畜が生まれたという神話が載っています。

当資料は慶長年間(1596~1615)に書写されたもので、完本としては現存最古。紅葉山文庫旧蔵。

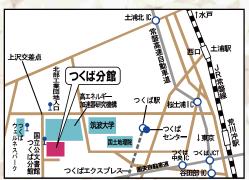
鎌倉時代後期~南北朝時代の歌人である兼好法師(けんこうほうし)の随筆。「筑紫(つくし)になにがしの押領使(おうりょうし)」で始まる章段には、薬効を期待して大根を食べ続ける武士の不思議な話が載っています。

当資料は慶長 18 年 (1613) に出版されたもので、和学講談 所旧蔵。



平安時代後期に成立した説話 集で、貴族から庶民まで幅広い 階層の人々の逸話が描かれてい ます。芥川龍之介の短編小説「芋 粥(いもがゆ)」の下敷きとなった、 芋粥を腹いっぱい食べようとす る侍の説話が載っています。

当資料は江戸時代前期に書写されたと考えられる林家旧蔵書で、内容・本文に信頼性が高く善本として知られています。



独立行政法人

国立公文書館つくば分館

〒300-4246 茨城県つくば市上沢6番6号 電話:029-867-1910 FAX:029-867-1939

一交通のご案内





- ・関東鉄道バス「テクノパーク大穂(おおほ)」行き(約30分)
 →「国立公文書館つくば分館」下車すぐ
- ・つくバス (北部シャトル)「筑波山口」行き(約 26 分)→「つくばウェルネスパーク」下車→徒歩(約 13 分)
- ・関鉄パープルバス「下妻 (しもつま) 駅」行き(約 29 分) →「北部工業団地入口」下車→徒歩(約 18 分)

◇お車をご利用の場合

- ・常磐自<mark>動車道「谷田部」インター約 18km</mark>
- ・常磐自動車道「桜土浦」・「土浦北」インター約 16km
- ・圏央自動車道「つくば中央」インターより約 14km

※期間中、展示室内の密接を避けるため入室制限を行うことがあります。